

# ウェビングマップにまとめて考える

- 個人
- グループ
- 学級全体

メモ用紙  
(付箋)  
画用紙  
サインペン

観察・見学・鑑賞など体験活動で集めた情報を、カードに書き出し、グループや学級全体でまとまりごとに分類していきます。

### 利点

- ・グループや学級で集めた、多様で、大量な情報を整理することができます。
- ・自分たちでカードを操作してまとめていくので、子どもが主体的に活動できます。
- ・友だちの情報と自分の情報を比べながら聞くことができます。
- ・可視化することで、どのような情報が、どれだけ集められたかがわかりやすいです。

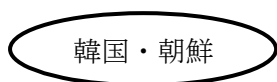
### 手順

事前に、集めた情報を個人がカードに書き出しておきます。1枚のカードに一つの情報とします。  
(そのとき、情報をキーワードにして短くまとめておくとよいです。)

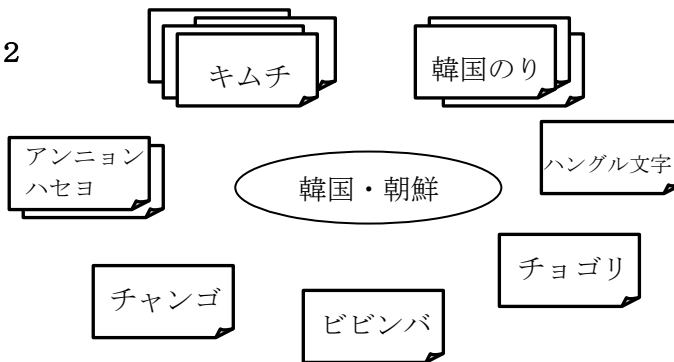
- 1 紙の真ん中に、テーマを書きます。
- 2 同じ考えのカードの上に、自分のカードを重ねていきます。
- 3 仲間分けができれば、並べ替えてまとまりごとにタイトルをつけて、線で結びます。
- 4 全体を見て、気付いたこと、課題を出し合います。

## ウェビングマップのまとめ方の例

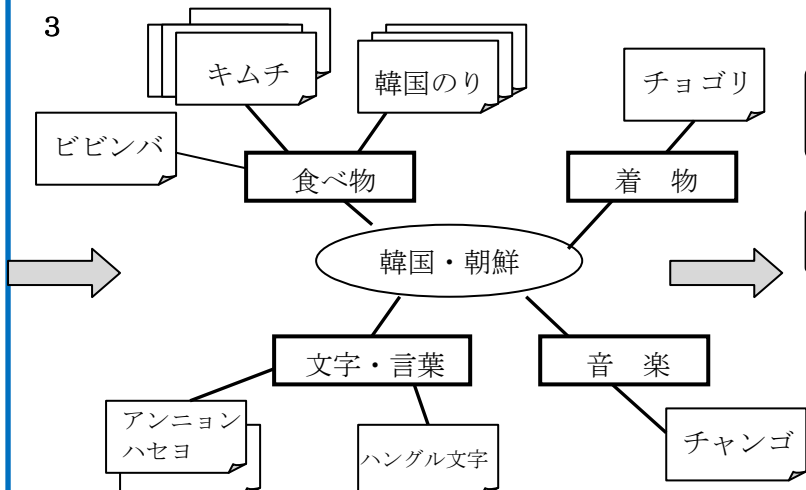
1



2



3



4

